

② 入試区分

秋季編入学

③ 出題科目

小論文

④ 出題の意図

学科内の授業に対応できる英語力があるかどうかを判断するため、まずビジネスにおける女性活躍に関する全4パラグラフから成る英文を日本語で要約し、その後に日本語で自分の意見を述べてもらうという形式をとっている。

難解な語句には注をついているが、注のついていない語句に関しては文脈の中で適切に読み取って要約できているかどうかがポイントになる。

I 次の英文を読み、内容を日本語で要約し、内容に対する自分の意見を日本語で述べなさい。字数制限は設けないが、解答欄の枠内におさまるよう、箇条書きではなく文章でまとめること。また、必要に応じて行替え(段落替え)を行ってもかまわない。なお、*のついた単語には注があるので参考にすること。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(小林英雄他, *American Dynamics.* 金星堂)

注 : corporate ladder 「企業の組織階層、出世の階段」, male-dominated 「男性支配、男性優位」, enterprising spirits 「進取の気性、企業家の心」, chief executive officer 「最高経営責任者」, entrepreneur 「企業家、実業家」, Fortune 500 「フォーチュン 500 : フォーチュン誌が発行するアメリカの上位 500 社のリスト」, five-fold 「5 倍」, Wharton School of Management 「ペンシ

ルベニア大学ウォートン経営学大学院」, address the issue「問題点について検討する」, consensus building「合意形成」, center around「～を中心とする、～に集中する」, authoritarianism「権威主義」, cooperative teamwork「協業」, bureaucracy「官僚主義」, subordinate「部下」, successor「後継者」, prospective「将来の」, moral in the workplace「職場の士気」, corporate America「アメリカのビジネス界」

番号:

氏名：

I

(要約) * この次の行から書き始めること。

小計

番号:

氏名：

I(続き)

(自分の意見) * この次の行から書き始めること。

小計	
総計	

正答例

番号:

氏名:

I

(要約) * この次の行から書き始めること。

アメリカでは、女性が企業で出世するのは難しい。女性 CEO は過去 10 年で 5 倍になったが、

その数はわずか 15 名で、巨大企業のわずか 3 %である。女性 CEO が持つリーダーシップの

資質が何なのか、研究する価値があるかもしれない。

ウォートン経営学大学院の Micheal Useem は、女性 CEO のリーダーシップの資質を研究した。

ウォートン校で講義を持った Salli Krawcheck は、良い CEO のリーダーシップを、合意形成、

意志決定、集団を目標に引っ張っていく能力に関わるものと定義した。伝統的なリーダーシップは、

権威主義や権力を中心としたもので、多くの男性はこの枠組みに容易に適合できる。しかし、21 世紀

において、協業がより重要性を増している。女性 CEO は、協業が得意で、職場に一体感をもたらし、

部下と効果的なコミュニケーションを取ることができる。

Xerox 社の Anne M. Mulcahy もまた、こういったリーダーシップの資質を示した。

彼女は CEO に就任するとすぐに、後継者選びを考え、Ursula M. Burns を将来の CEO に決め、

チームで一緒に働いて鍛えた。後に Burns が CEO に就任したことは、職場の士気を高めた。

女性 CEO の新たな波が、男性優位のアメリカのビジネス界に押し寄せている。

彼女たちのリーダーシップのスタイルは、チームで働いたり、職場の一体感を育てたりすることに

重点が置かれている。

小計	
----	--

正答例

番号:

氏名：

I(続き)

(自分の意見) * この次の行から書き始めること。

正答例省略

小計	
総計	

